Internet Explorer11(IE11)のご利用にあたって

# 1. セキュリティに関する推奨設定について

新しいタブを選択すると「よくアクセスするサイト」が表示され、ダイレクトにページが 表示されます。

③ ④	D + C Ø e−x e t #25.75Δ Ø ₩0.497 x		- 0 × 0
	Web の検索	م	
	よくアクセスすらりイト () ・ *** + 新日 397		
	10-ca-155568074-08812.4 902705-289-1   100270-018     149-46-757588976	904#88	

#### 🔲 留意点

- A. 「よくアクセスするサイト」に表示されたe-Net保証のサイトをクリックすると、 ログイン画面を経由していないため、メニューのない画面、エラー画面、真っ白 な画面等が表示されて次操作に進めません。
- B. 一度表示した申込書等のPDFファイルが「よくアクセスするサイト」に登録されていると、ログイン画面を経由せずに保証申込書等が表示される場合があるため、第三者の閲覧や利用が可能となってしまいます。
- 🔲 解消方法
- A. 画面を×でー旦閉じていただき、e-Net保証のログイン画面からご利用ください。
- B. 「InPrivateブラウズ」機能を利用すれば本影響が解消できるとともに 高セキュリティとなりますので、同機能の利用をお勧めします。

「InPrivateブラウズ」機能とは、Webブラウズの痕跡を残さない機能。 閲覧履歴、インターネットー時ファイル、cookie、ユーザー名、パスワードをブラウザ に保存せず利用できるもの。

「InPrivateブラウズ」機能の利用方法について

「InPrivateブラウズ」機能の起動方法は3通りあります。 e-Net保証の利用の都度、同機能を有効にしてください。

## <方法1>

Internet Explorerの画面右端の「ツール」を押下し、「セーフティ」を選択し、「InPrivateブラウズ」を選択してください。

		-	
		印刷(P) ファイル(F) 拡大(Z) (100%)	•
閲覧履歴の削除(D)	Ctrl+Shift+Del	セーフティ(S)	•
InPrivate ブラウズ(I)           追跡防止を有効にする(K)           Do Not Track 要求を無効にする(T)           ActiveX フィルター(X)           Web ページのプライパシー ポリシー(V)           この Web サイトを調べる(C)	Ctrl+Shift+P	サイトをアプリビューに追加(I) ダウンロードの表示(N) アドオンの管理(M) F12 開発者ツール(L) ビン留めサイト(G) 互換表示設定(B)	Ctrl+J
SmartScreen フィルター機能を無効にする(F) 安全でない Web サイトを報告する(R)		Web サイトの問題を報告(R) インターネット オプション(O) バージョン情報(A)	

#### <方法2>

新しいタブをクリックし、「InPrivateブラウズを開始する」を押下してください。

<ul> <li>()))</li> <li>())</li> <li>())<th>ρ - 0 g e-set (NED2) a g = 0.00</th><th>- 6 - C</th></li></ul>	ρ - 0 g e-set (NED2) a g = 0.00	- 6 - C
	Web の検索 の	
	よくアクセスするサイト	
	2 - 44 - 680 074	
	NAC6/V1010800/1058127年 9/00885 第257515-1891 - 「第201000118」 199448 755238015	

### <方法3>

①InternetExplorerのタスクの「InPrivateブラウズを開始する」を押下してください。

タスク	
	InPrivate フラウスを開始9つ
<i>(</i>	Internet Explorer
<b>°</b>	タスク バーからピン留めを外す
-	リイントックを用いる
$\square$	(A)

②「InPrivateブラウズは有効です」とページ内に表示されている画面が起動します。 同時に、アドレスバーに「InPrivate」と表示されます。



※e-Net保証終了時には必ずログアウトをしてください。

# 2. インターネットオプションに関する推奨設定について

弊社で推奨している各種設定方法を紹介します。

- ・タブブラウズの設定方法
- ・縦スクロールを発生させないようにする方法
- セキュリティの警告画面を非表示にする方法
- ポップアップブロックをしないようにする方法
- ・弊社ホームページへのリンクを正常に動作させる方法

①Internet Explorerの画面右端の「ツール」を押下し、「インターネットオプション」 を選択してください。

		ି 🖓 🔅
	ED刷(P)	•
	ファイル(F)	•
	拡大(Z) (100%)	•
	セーフティ(S)	•
	サイトをアプリ ビューに追加(I)	
	ダウンロードの表示(N)	Ctrl+J
	アドオンの管理(M)	
	F12 開発者ツール(L)	
	ピン留めサイト(G)	
	互换表示設定(B)	
	Web サイトの問題を報告(R)	
0	インターネットオプション(の)	
	パーション清報(A)	

②「インターネットオプション」ウィンドウの「全般」タブの「タブ」ボタンを押下して ください。



既定徳に戻す(R)

OK +1720

- ③「タブブラウズの設定」ウィンドウを以下のとおりに設定してください。
- 「常に新しいウィンドウでポップアップを ●ポップアップの発生時  $\rightarrow$ 開く」を選択してください。 ●他のプログラムのリンクを開く方法 「現在のウィンドウの新しいタブ」を選択 してください。 × タブブラウズの設定 タブブラウズ ✓ 複数のタブを閉じるときにメッセージを表示する(W) □新しいゆブの作成時には常に新しいゆブへ移動する(A) ダスク バーにタブのプレビューを表示する\*(S) √ タブ グループを有効にする\*(G) ■ 新しいタブは現在のタブの隣に開く □ Internet Explorer の開始時は最初のホーム ページだけを開く(F) 新しいゆブを聞いたときに表示するページ: 新しいタブ ページ 🗸 ポップアップの発生時: ○ポップアップを聞く方法を Internet Explorer で自動的に判定する(I) ・ 第に新しいウィンドウでポップアップを聞く(W) ○常に新しいタブでホップアップを聞く(T) 他のプログラムからのリンクを開く方法: ○新しいウインドウ(0) 現在のウィンドウの新しいゆブ(B)
   現在のタフォたはワインドウ(C) \* コンピューターの再起動後に有効になります

- ④「タブブラウズの設定」ウィンドウの「OK」ボタンを押下してください。
- ⑤「インターネットオプション」ウィンドウの「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」をクリックし、「サイト」ボタンを押下すると、「信頼済みサイト」ウィンドウが開きます。

「信頼済みサイト」ウィンドウの上段「このWebサイトをゾーンに追加する」欄に https://enet.wincs.co.jpと入力し、「追加」ボタンを押下してください。

下段の「Webサイト」欄に入力したアドレスが反映したことをご確認のうえ、「信頼 済みサイト」ウィンドウの「閉じる」ボタンを押下してください。



⑥「インターネットオプション」ウィンドウの「セキュリティ」タブの「レベルのカスタ マイズ」ボタンを押下してください。



⑦「セキュリティ設定」ウィンドウ内の「スクリプトを実行しても安全だとマークされていないActiveXコントロールの初期化とスクリプトの実行」の「ダイアログを表示する」にラジオボタンを移動させてください。

セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン ×	
設定	タイトルバーにあるQ&A等のリンクが できるようになります。
ーコンとユーターの再起動使に特別になります カスタム設定のリセット	
リセット先(R): 中(既定) v リセット(E)	
OK         キャンセル	

⑧同ウィンドウ内の「Webサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを
 開くのを許可する」の「有効にする」にラジオボタンを移動させてください。



⑨同ウィンドウ内の「ポップアップブロックの使用」の「無効にする」にラジオボタンを 移動させてください。

「より権限の少ないWebコンテンツゾーンのWebサイトがこのゾーンに移動できる」の 「有効にする」にラジオボタンを移動させてください。

「OK」ボタンを押下してください。



設定ありがとうございました。今後ともe-Net保証をよろしくお願いいたします。

以 上